

【情報公開文書】

2025年1月27日作成

Ver.9.0

研究課題名	機会学習アルゴリズムを用いた神経精神ループスの病態解析
所属（診療科等）	長崎大学病院 精神科神経科
研究責任者	浦島 佳代子（助教）
研究機関	この研究は長崎大学病院 リウマチ膠原病内科、放射線科、精神科神経科で行います。
研究期間	長崎大学病院長許可日～2027年3月31日
研究目的と意義	全身性エリテマトーデス(SLE)は多臓器に影響する自己免疫性疾患です。主に若年女性に発症し、腎臓、皮膚、脳などを障害し、中でも神経精神ループス(NPSLE)はSLE患者さんのおよそ50%に出現し、頭痛や痙攣、抑うつ症状など多彩な症状が見られます。NPSLEの病態は未だ明らかになっておらず、血液検査や脳画像検査で異常が認められないことも多いため、診断が困難です。そこで私たちは機械学習アルゴリズムを用いて、NPSLEの患者さんの脳画像をどの程度の正確さで判定できるかを調べることを目的としてこの研究を立ち上げました。この研究を行うことで機械学習においてNPSLEの患者さんの脳画像を正確に判定する可能性があるかということや脳画像とNPSLEの病勢・病態の関連を検討することができます。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎大学病院の患者さんで下記の条件を満たす方 ・2005年1月1日～2020年8月31日に長崎大学病院リウマチ膠原病内科を受診されたNPSLEの患者さんおよびNPSLEを発症されていないSLEの患者さん ・性別、年齢は不問 ・SLEの診断基準を満たす方であれば、混合性結合組織病・オーバーラップ症候群などと診断されている患者さんも含みます ・対象には外国人の方もふくみます <p>●利用する情報／試料</p> <p>患者特性：年齢、性別、診断名、職業、飲酒・喫煙歴、内服歴、既往歴、生育歴、血液学的検査、血液生化学検査、尿検査、尿沈渣、全身性エリテマトーデス関連血液検査、神経栄養因子血液検査、髄液検査、頭部画像検査、精神症状評価、疾患活動性、治療など</p> <p>試料：通常診療で採取した血液・髄液検体の残余検体を使います。</p> <p>本研究で得られた試料および情報等は異なる研究で使用する可能性または他の研究機関等に提供する可能性があります。</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の</p>

	<p>「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法</p> <p><u>診療記録から年齢、性別、職業、飲酒・喫煙歴、内服歴、既往歴、生育歴、血液学的検査、血液生化学検査、尿検査、尿沈渣、髄液検査、頭部画像検査、精神症状評価、疾患活動性、治療内容などの情報を収集します。また、通常の診療で得た血液・髄液から全身性エリテマトーデス関連血液検査、神経栄養因子血液検査を行います。</u></p> <p>以上の情報、検査結果、頭部 MRI 画像は長崎大学情報データ科学部と島根大学と合同で、どの程度、NPSLE の患者さんと判定するかを解析します。本研究の概要・方法について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：浦島 佳代子（医師） 長崎大学病院 精神科神経科</p> <p>住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号</p> <p>電話：095（819）7294 FAX 095（819）7875</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200</p> <p>受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）</p>